

日高川下流域における整備状況について

日高川の概要

- 流路延長127kmの**日本一長い二級河川**。
- 上流では林業が盛んで、古くは江戸時代から木材運搬のための「筏流し」が始まり、明治時代に隆盛。
- 昭和28年7月17日～18日の梅雨前線豪雨では、旧藤田村（現御坊市藤田町）や旧野口村（現御坊市野口）等で堤防が決壊し、甚大な被害が発生。



昭和28年7月豪雨による被災状況

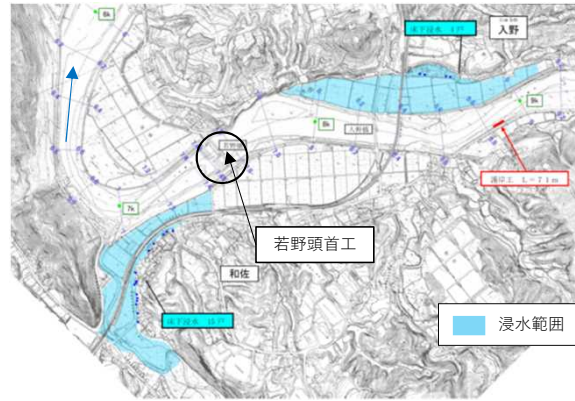
- ・流域全体で死者行方不明者289名
- ・天田橋、野口橋等の主要橋梁が流失



現 野口橋より下流付近（右岸側）

平成15年8月台風第10号による浸水状況

- ・御坊市域で約0.2千㎡の範囲が浸水し、床下浸水2戸の被害が発生
(流域全体では約20万㎡の範囲が浸水、床下14戸、床上16戸の被害)



平成15年8月台風10号と同規模の洪水による氾濫解析結果

平成18年9月豪雨による浸水状況

- ・御坊市域で約1.0千㎡の範囲が浸水し、床下浸水2戸の被害が発生



御坊市湯川町の浸水状況

平成23年9月台風第12号による浸水状況

- ・流域全体で死者3名、行方不明者1名
- ・御坊市域では約6千㎡の範囲が浸水し、床下浸水74戸、床上浸水7戸の被害が発生



道成寺駐車場の浸水状況

平成18年7月豪雨による浸水状況

- ・御坊市域で約6千㎡の範囲が浸水し、床下浸水45戸の被害が発生



下川沿いの浸水状況

平成27年7月台風第11号による浸水状況

- ・御坊市域で約1.7千㎡の範囲が浸水し、床下浸水9戸、床上浸水3戸の被害が発生



江川沿いの浸水状況

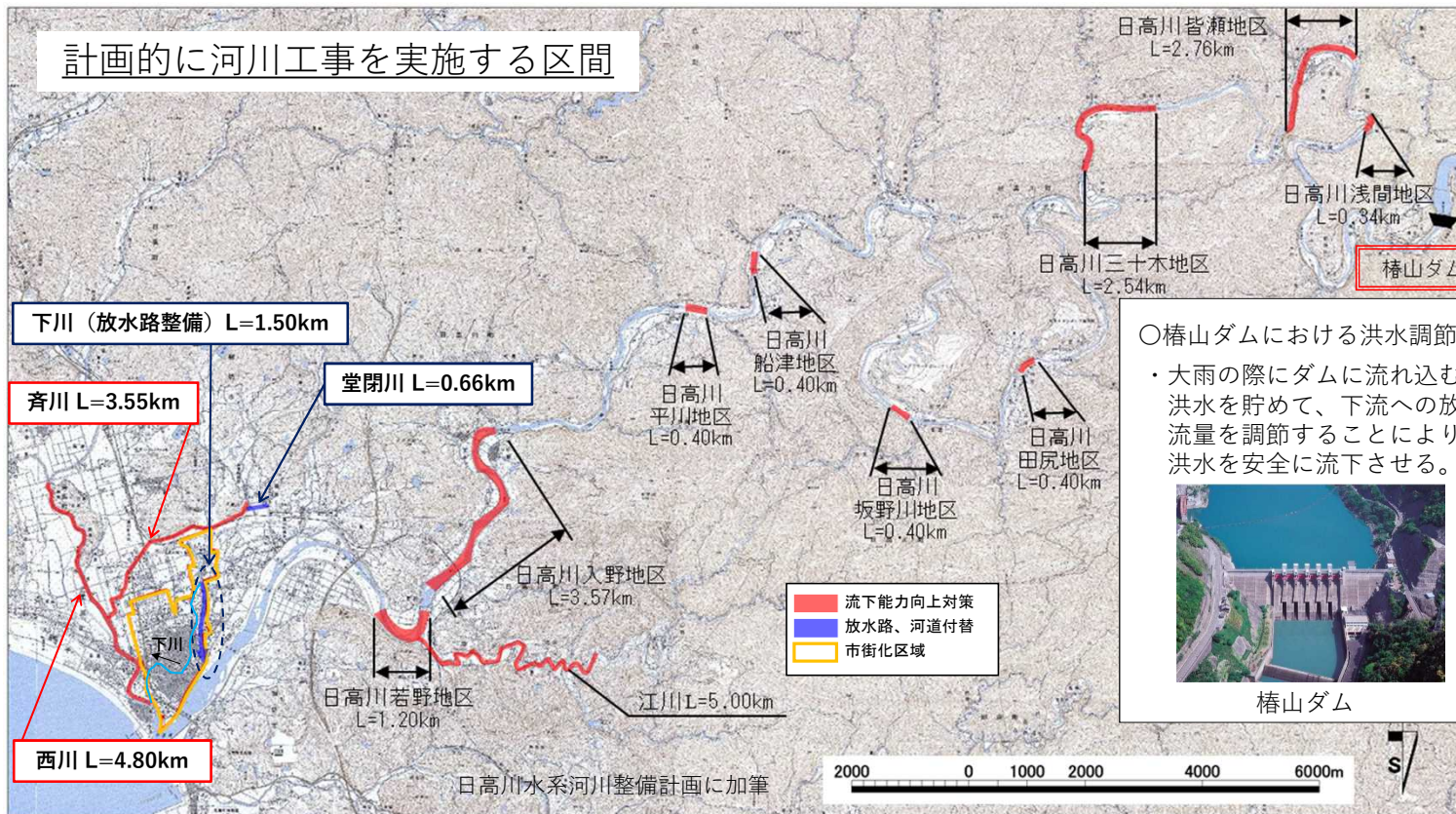
日高川水系河川整備計画

○平成28年（2016年）3月に日高川水系河川整備計画を策定（計画対象期間は計画策定から概ね20年間）

○日高川本川では、平成15年8月台風第10号と同規模の洪水に対して、治水安全度の向上を図る。

具体的には、日高川町和佐の基準点で3,100m³/sの流量（およそ25mプール5杯分）を安全に流下させるよう、堤防整備や河道掘削などを実施。

計画的に河川工事を実施する区間



○樺山ダムにおける洪水調節

・大雨の際にダムに流れ込む洪水を貯めて、下流への放流量を調節することにより洪水を安全に流下させる。



樺山ダム

○河川水の利用

・農業用水として39件で合わせて約1,790haのかんがいに利用されているほか、都市用水として11件、発電用水として6件利用されている（平成27年3月末時点）

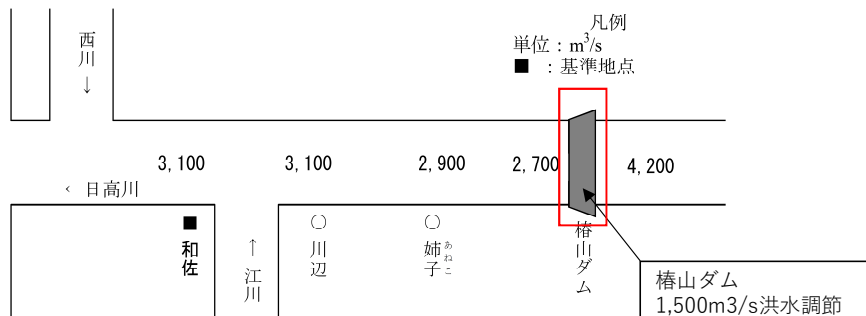


若野頭首工



御坊市塩屋地区

日高川河川整備計画目標流量配分図 (日高川水系河川整備計画より抜粋)



○河川環境

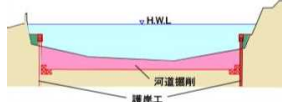


日高川下流域の整備状況

- 日高川本川において、令和2年度は野口新橋上下流における樹木伐採や堤防補強、上流の日高川町若野地区における堤防整備などを実施
- 支川西川では、平成29年度より河道掘削等を実施中
- 支川下川では、令和3年度より放水路整備にかかる設計に着手

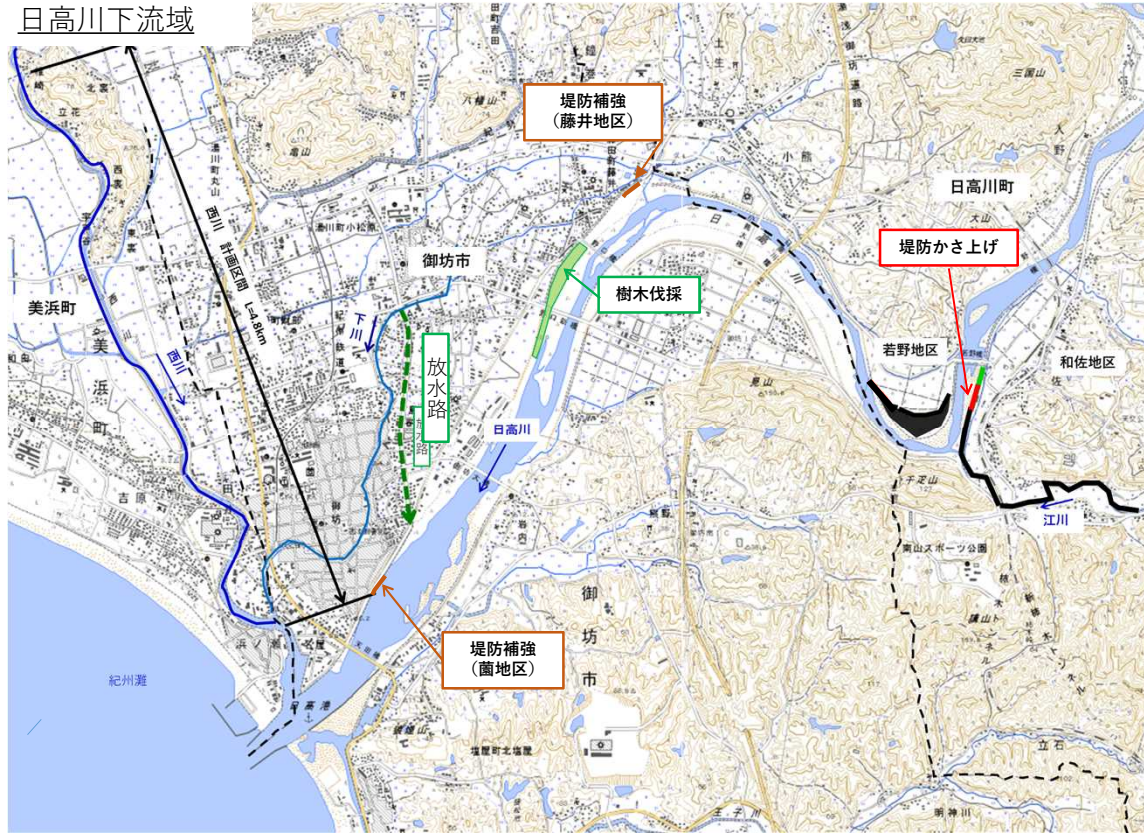


河道掘削状況



西川

日高川下流域



【堤防かさ上げ】



写真：若野地区

【樹木伐採】



実施前



実施後

写真：野口新橋上流

【堤防補強】



実施前

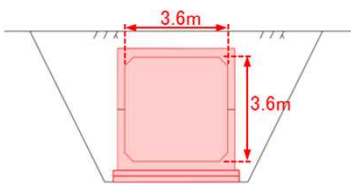


実施後

写真：日高川藤井地区



放水路整備予定箇所
(県道御坊停車場線)



下川 (放水路整備)